

| 基本計画大綱に盛り込む内容 | キーワード・必要な視点 | 区の考え方との関連 | 委員から出された意見 |
|------------------------------|-----------------------|------------|--|
| 計画策定にあたって (基本的な考え方・コンセプト) | ●最上位の計画でしか描けない内容 | H | ◆縦割りの寄せ集めの計画とするのではなく、SDGsなどの複眼的な目標を掲げるなど、最上位の計画ならではの内容とすべき。【小林委員】 ◆個別や分野別では議論できない内容を議論していく必要がある。【森田委員】 ◆全てを包摂するような考え方や、区政への参加の考え方を打ち出せたらよい。【羽毛田委員】 |
| | ●社会状況の変化を踏まえた計画 | | ◆安全安心や子どもの未来など、重要課題への区の理念をしっかりと基本計画に掲げることで、急激な社会状況の変化に対応することが可能ではないか。【尾中委員】 ◆何も教えなくてもデジタルツールをすぐに使いこなせる現在の子どもたちが、10年後、20年後に世田谷でメインで活躍していく社会を見据えた計画としたい。【羽毛田委員】 |
| | ●インクルーシブな視点 | | ◆日本全体、あるいは生態系までも含めた広い視点から、誰もが一層住みやすくするための政策をインクルーシブに考えていく必要がある。【小林委員】 |
| | ●計画上にない事態が生じた際にも役立つ指針 | | ◆計画していないことが起きた際に役立つ指針となるような内容を考えた方がよい。【小林委員】 |
| | ●区民の生命を守る | 1-1 3-4 | ◆命をしっかりと守るのが行政の一番大事な立ち位置であり、災害時を含め、区民の命をどう守っていくかという視点が重要である。【鈴木委員】 |
| | ●バックキャストの考え方 | F | ◆コロナ禍で社会変容が起きており、急速な変化に対応するには、これまでのフォアキャストの計画論ではなく、バックキャストの考え方が重要である。【涌井委員】 |

| 基本計画大綱に盛り込む内容 | キーワード・必要な視点 | 区の考え方との関連 | 委員から出された意見 |
|--------------------|-------------------------|---|---|
| 基本方針 (目指すべき将来像) | ●子ども・若者への支援の充実 | | ◆社会の一員としての若者の参加や意見表明、権利侵害への救済、若者の事業展開などに向けた支援が必要ではないか。【森田委員】 |
| | | I 4-0 4-1 4-2 | ◆子どもへの支援に加え、これから社会に出ていく若者への支援を充実することも必要ではないか。【佐伯委員】 |
| | | 4-3 4-4 | ◆働く女性や子育て世帯などのリアルな声をしっかりと吸い上げていきたい。【下川委員】 |
| | | | ◆世田谷区も人口減少局面、少子化の問題に直面することを意識する必要がある。【中村委員】 |
| | ●地域課題の解決の担い手の創出・地域人材の育成 | | ◆計画の実効性を確保するには、人材育成の視点が重要だ。【大杉委員】 |
| | | D 3-0 5-3 | ◆区政を取り巻く多様で複合的な課題の解決に取り組むことができる担い手の創出、人材の育成が次期基本計画のポイントである。多様な住民が主体となった生活をベースとする起業や創業は区内で多く見受けられ、起業活動を一層促すことが重要である。【長山委員】 |
| | | ◆区内でリーダーシップを発揮して活動している方々の活力は貴重であり、こうした方々が情報共有し、円滑に活動できる仕組みづくりが必要である。【羽毛田委員】 | |

| 基本計画大綱に盛り込む内容 | キーワード・必要な視点 | 区の考え方との関連 | 委員から出された意見 |
|--------------------|------------------------|------------|---|
| 基本方針 (目指すべき将来像) | ●多様性の尊重 | 2-0 2-4 | <p>◆簡単には意見を表明しにくい事情や環境にあり、自分の困っていることを人に知られたくない、また、相談することに不安を抱いている方は多く、ダイバーシティの視点からそのような方々にどのような支援をできるかが大きな課題。【江原委員】</p> <p>◆子ども、若者、外国につながる方など、多様な方々の人生が輝くような基本計画をつくるのが、世田谷のブランド化につながる。【江原委員】</p> <p>◆人権問題や文化の違い、経済上の対立など、社会の様々な対立構造に対し、区の政策としてどう対応していくのか、しっかりと議論していくべき。【森田委員】</p> |
| | ●他自治体をリードする取り組み・世田谷モデル | 4-3 | <p>◆空きが生じ始める保育園を多機能化し、地域みんなが集まれる場所に発展させるなど、他自治体よりも10年、20年先を読みながら、いろいろな取組みを新しく提案できる自治体を目指すべき。【汐見委員】</p> <p>◆世田谷のモデルがつくられ具体化されていくと、全国のモデルになってくる。【鈴木委員】</p> <p>◆より独自の教育施策が展開できるのではないかと。【安藤委員・区民検討会議】</p> |
| | ●苦しい人へ手を差し伸べられる社会 | 2-2 2-4 | <p>◆女性支援、特に苦しい状況に置かれている若年女性への支援について、しっかりと考えていくべき。【江原委員】</p> <p>◆一番苦しい人に手が差し伸べられる地域社会を実現することが、世田谷のブランドになるのではないかと。【中村委員】</p> |

| 基本計画大綱に盛り込む内容 | キーワード・必要な視点 | 区の考え方との関連 | 委員から出された意見 |
|--------------------|------------------------|------------|---|
| 基本方針 (目指すべき将来像) | ●ウェルビーイングな社会・心が豊かになる社会 | 5-2 | ◆グリーンインフラの取組みなど、自然のストックを活用していくことで、まちが成熟して人々の心が豊かになっていく。幸福感をどう見出すかが重要であり、ウェルビーイングの視点から、世田谷のまちを、金銭的に豊かにならなくても心が居心地がよくて住みやすい、みんなが助け合えるといった姿に変えていくことが必要ではないか。【涌井委員】 |
| | | | ◆心が豊かになれるような社会をつくるには、公共が非常に重要な働きをする。【安藤委員】 |
| | ●経済上の格差・貧困問題への対応 | 1-4 3-0 | ◆高齢者や障害者などがいかに地域の中で暮らし続けられるか、貧困格差の問題や住まいの問題も踏まえ、サポートしていくシステムが必要になる。【中村委員(再掲)】 |
| | ●次世代への資源の継承 | | ◆人権問題や文化の違い、経済上の対立など、社会の様々な対立構造に対し、区の政策としてどう対応していくのか、しっかりと議論していくべき。【森田委員(再掲)】 |
| | ●分野の狭間にある課題・複合的な問題への対応 | H 2-0 | ◆次の世代を担う若者がやりたいことを実現するための資源を残すこと、可能性のプラットフォームをつくることがサステナブルな社会の実現につながり重要。【青柳委員】 |
| | ●地域で暮らし続けるための支援 | 2-2 2-4 | ◆医療・福祉分野では、今後、8050問題やひきこもり、ごみ屋敷の問題など、分野の狭間にある、あるいは複合的な問題に取り組んでいく必要がある。【中村委員】 |
| | ●楽しめる場所 | 3-3 6-2 | ◆ランドマークを建てるなど、世田谷をもっと楽しめるような場所にしていけないか。【安藤委員・区民検討会議】 |
| | ●移動の円滑化 | | ◆世田谷は広いが、意外と分断されていて、縦に移動するのは非常に難しい。【安藤委員・区民検討会議】 |

| 基本計画大綱に盛り込む内容 | キーワード・必要な視点 | 区の考え方との関連 | 委員から出された意見 |
|---------------------|-------------|--------------|--|
| 計画推進にあたって重視すべき考え方など | ●DX | 6-0 6-1 | <p>◆DXをどう使っていくのかが、次の基本計画の課題ではないか。【中村委員】</p> <p>◆DXの力を活用した革新的な取り組みを行ってほしい。【安藤委員・区民検討会議】</p> <p>◆ブランディングが進んでいる世田谷区において、今後必要となるのがDXの部分ではないか。【尾中委員】</p> |
| | ●情報発信 | B | <p>◆プッシュ型の情報発信をどんどん行ってほしい。【安藤委員・区民検討会議】</p> <p>◆全国に世田谷の取り組みを一層アピールしていく必要がある。【安藤委員・区民検討会議】</p> <p>◆プル型の発信にも力を入れていくべき。【尾中委員・区民検討会議】</p> |
| | ●参加と協働 | A、B、E 3-1 | <p>◆参加と協働については、受け止める側となる事業者・職能団体にも理解を得た上で、力を入れていく必要があるのではないかと。【中村委員】</p> <p>◆幅広い世代からの声を取り入れたり、様々な視点から区の現状を見直すことで、さらなる課題解決につなげることができるのではないかと。【佐伯委員】</p> |
| | ●人材育成 | G | ◆計画の実効性を確保するには、人材育成の視点が重要だ。【大杉委員（再掲）】 |
| | ●SDGs | H 5-4 | ◆SDGsなどの複眼的な目標に照らし、縦割りの政策を全部チェックすることなども必要になってくるのではないかと。【小林委員】 |
| | ●働き方改革 | 6-1 | ◆大人にとっても子どもにとっても大事な働き方改革を進めるべき。【森田委員】 |